

改善報告書

令和6年7月30日

1. 大学名：帝京大学

2. 認証評価実施年度：令和3年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1 学生の受入れ

○理工学部バイオサイエンス学科及び福岡医療技術学部作業療法学科の収容定員充足率が0.7倍未満となっている点について改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目2-1について

理工学部バイオサイエンス学科における収容定員充足に向けた取り組みとして、令和4(2022)年度よりアクション・プラン(3ヵ年計画)において、定員充足率の改善を掲げるとともに、以下の取り組みを行っている。

- ・学生獲得に向けた取り組みとして、幅広く広報活動を実施している。
 - ①板橋キャンパスで行われるオープンキャンパスに、バイオサイエンス学科として参加
 - ②栃木県内の農業高校との共同研究(高大連携の強化)や栃木県内の高校への出張講義の積極的な参加
 - ③オープンキャンパスの参加者のうち、受験生へ対する個別面談の強化
 - ④大学見学会において、個々のニーズに合わせた少人数での対応
 - ⑤定期的なSNSでの情報発信
- 特に、④⑤のような新しい広報活動を追加することで、学科の認知度を高め、入学に繋がった。

〈実績：宇都宮キャンパスのオープンキャンパス動員数

令和4(2022)年度：1,421人 令和5(2023)年度：1,719人 前年度比：121%〉

- ・オープンキャンパス参加や入学者アンケートの調査などにより、学生の意識や動向についても調査分析を行っている。
- ・令和4(2022)年度においては、入学定員を100人から85人に変更した。

以上の取り組みにより、入学定員充足率において、令和3(2021)年度は志願者303人、入学者46人、定員充足率は46%、令和4(2022)年度は志願者280人、入学者67人、定員充足率は79%であったが、令和5(2023)年度においては、志願者は316人(前年度比：113%)と増加し、入学者も78人、定員充足率は92%となり、令和6(2024)年度は志願者252人に対して入学者は71人となり、定員充足率は84%となった。

帝京大学

収容定員充足率においては、令和 5(2023)年度は収容定員 370 人に対して在学者数は 254 人となり、充足率は 69%、令和 6(2024)年度は収容定員 355 人に対して、在学者数は 262 人で充足率は 74%という結果となり、収容定員充足率を 7 割台に改善した。

以上のとおり、アクション・プラン 3 ヶ年の活動が徐々に定員充足に繋がって来ている中で、令和 7(2025)年度より理工学部の改組（設置届出中）を予定している。現在の 4 学科から 4 コース制に変更予定で、バイオサイエンス学科を改組後環境バイオテクノロジーコース（定員 50 人程度）に変更することで、過去 3 年間の入学者数の定員充足状況から考えると定員の充足が期待できる。引き続き在学生の教育満足度を高めるため、学生一人ひとりを丁寧に教育していくことはもちろん、高大連携事業や出前講義等を通じてオープンキャンパスの来場者増加に繋げ、定員を充足できるように取り組んでいく。

福岡医療技術学部作業療法学科における収容定員充足に向けた取り組みについては、令和 4(2022)年度より作業療法学科に特化したアクション・プラン（3 ヶ年計画）を策定するとともに、広報および教育活動において以下の取り組みを行っている。

- ・高校訪問や出張講義、Web での情報発信を積極的に行っている。また、オープンキャンパスにおいて九州各県からの無料送迎バスを運行し、県内外から参加しやすい環境を整え、参加者の増員を図っている。
- ・オープンキャンパスにおいて、VR ゴーグルを使用した仮想現実視聴によるストレス軽減体験や e スポーツ体験など学科企画の内容を見直し、領域ごとの具体的な業務内容や魅力を伝え、受験率の向上に努めている。その結果、オープンキャンパスにおいて当該学科を第一志望として参加した生徒の受験率が向上した。
〈令和 5(2023)年度入試:50.0% 令和 6(2024)年度入試:83.3% 前年度比:166.6%〉
- ・当該学科の教育内容や特徴、作業療法士の魅力を分かりやすく伝えるためにアニメーション動画を製作し、定期的な情報発信計画のもと SNS やメールマガジン配信による情報発信を行っている。
〈令和 5(2023)年度実績：SNS 配信回数 96 回（前年度比：+13 回）、福岡キャンパス公式 Instagram 当該学科に関する配信回数 10 回（前年度比：+6 回）〉
- ・当該学科に特化した来場型の医療系イベントを実施し、学生や教員と共に研究活動の疑似体験や実技体験を行っている。
- ・全学年にわたり、苦手分野の補講ペア学習、確認テストとフィードバックの実施、誤解答問題のグループ学習、ならびにゼミ担当教員によるきめ細かな学習支援、生活指導により、成績不振による退学者、留年者を出さないように取り組んでいる。

令和 4(2022)年度より以上の取り組みを行っているが、令和 5(2023)年度、令和 6(2024)年度入学者選抜の志願者は減少し、大幅な定員未充足の状況が続いている。収容定員充足率も年々減少しており改善には至っていないため、令和 6(2024)年度はこれらの内容に加え、以下の取り組みを実施・計画している。

- ・令和 6(2024)年度オープンキャンパスの当該学科参加者数（保護者込み）は 6 月開

帝京大学

催終了時点で 24 人と増加し、前年度比 480%となった。(前年度同時期は参加者数 5 人)

- ・令和 7(2025)年度入学者選抜において新たな奨学特待生選抜を実施し、志願者の増加を図る。
 - ・テレビCM、Web プロモーション、九州各県の主要駅でのデジタルサイネージ広告など様々なメディアを活用し、オープンキャンパスへの誘引を更に強化する。
- また、今後、作業療法学科の改組を検討している。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

- ・入学定員充足率および収容定員充足率

理工学部バイオサイエンス学科

	入学定員	入学者数	充足率	収容定員	在籍学生数	充足率
令和 3(2021)年度	100 人	46 人	46%	400 人	219 人	55%
令和 4(2022)年度	85 人	67 人	79%	385 人	233 人	61%
令和 5(2023)年度	85 人	78 人	92%	370 人	254 人	69%
令和 6(2024)年度	85 人	71 人	84%	355 人	262 人	74%

福岡医療技術学部作業療法学科

	入学定員	入学者数	充足率	収容定員	在籍学生数	充足率
令和 3(2021)年度	40 人	18 人	45%	160 人	86 人	54%
令和 4(2022)年度	40 人	20 人	50%	160 人	72 人	45%
令和 5(2023)年度	40 人	11 人	28%	160 人	65 人	41%
令和 6(2024)年度	40 人	9 人	23%	160 人	56 人	35%

- 1 帝京大学アクション・プラン（3 カ年計画）【2022 年度～2024 年度】宇都宮 No. 4
- 2 2022 年度バイオサイエンス学科広報活動一覧
- 3 2023 年度バイオサイエンス学科広報活動一覧
- 4 宇都宮キャンパスオープンキャンパス動員結果
- 5 2021 年度第 13 回入試・広報委員会議事録
- 6 帝京大学アクション・プラン（3 カ年計画）【2022 年度～2024 年度】福岡 No. 5
- 7 委員会活動計画書・実績報告書（入試・広報・公開講座委員会）
- 8 教育課程検証・授業等教育活動見直しシート（作業療法学科）
- 9 福岡医療技術学部 志願者・入学者・OC データ（参考）
- 10 2024 年度オープンキャンパス集計（保護者込み学科別）